学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	音楽	実施学年	１年	週時数	１・５時間

１　学習の目標等

学習の目標	（１）歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現に生かしながら主体的に歌唱する。 （２）音楽の楽典（音符の長さ、種類、拍の特徴、音の高低、強弱、曲の形式）を覚え、音楽の表現に生かしていく。 （３）声や楽器の音色や響きの相違点を感じとり、良い音楽をできるように技能を身につける。 （４）様々な音楽を聴き、曲の特徴やその背景となる文化・歴史・作曲の思いを感じ取る。 （５）仲間とともに協力し合い、合唱や合奏を演奏する楽しさを味わう。
使用教科書 副教材等	ミュージックノート、ファイル、楽譜

２　学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備考
第１学期	4	・音楽の授業についての説明	・音楽室への移動、教室での使用の注意、持参する物、移動の注意事項、授業についてのマナーを身につける。	・音楽の授業について諸注意を良く聞いているか評価する。	
		・「校歌」 手拍子を行う リズム唱を行う 階名唱を行う	・歌詞の意味を理解し、言葉とリズム、音程を覚え歌唱する。 ・「校歌」を一人で歌える。 ・一人一人の声に耳を傾ける。 ・音程、リズムを身につけ、一生懸命に歌唱する。	・一生懸命に取り組んでいるか評価する。	
		・校歌の写譜を行う（提出）	・校歌の楽譜を綺麗に書けるようにする。		
		・歌唱テスト「校歌」	・各個人がどのくらい歌唱力を身につけたか確認し、今後の指導に生かす。 （歌詞、歌う姿勢、口形、声の出し方、リズム）	・歌唱テスト（独唱） 必要な技能が授業で身についたか。（音程、リズム、歌詞） ・歌のテスト中のプリントも評価する。	歌唱テスト中、校歌、楽典のプリントを書かせる。
	5	・過去の合唱際の DVD を鑑賞し、中学校の歌唱を学ぶ。	・先輩の曲やホールの舞台の大きさ、動きを意識し歌唱する。 ・過去の合唱のレベルを理解する。		
		・「My　Voice！」 発声方法や音楽のジャンルによって同じ声にも種類があることを学ぶ	・様々な「声」を学ぶ ・続く教材で「声の種類」や「歌い方」という視点が持てるようにする	・音楽を聴き課題に対して、自分の言葉で文章にまとめることができたか	
		・「魔王」 詞と内容に沿って旋律の雰囲気や伴奏の形が様々に変化していくことを知	・詞と曲想のかかわりを理解する（知識） ・音楽の構造（音色、テクスチュア、強弱）を知覚し、曲の良さや美しさを味わって聴く（思判断表現）	・鑑賞ワークシートを評価（詩と曲想の	

	6 7	り、曲想と音楽の構造のかかわりについて学ぶ ・合唱コンクール歌唱「クラスの合唱」 歌詞の内容や曲想を感じ取り歌唱する。 曲の構成を理解し演奏する。 ・歌唱テスト	・歌い方や旋律の雰囲気と詞の内容に関心を持ち主体的、協働的に学習に取り組む ・全体の音楽を知り階名唱、母音唱をする。 ・各パートの音を意欲的につかみ、歌唱できるようにする。 ・他のパートの関わりを感じながら合唱する。 ・各パート１人から２人で歌い周りと合わせて歌う。 ・自分のパートをつられることなく歌う。	関わりを理解しているか、それが良さと感じているか) 自分のパートを正確に歌唱できているか	
第２学期	9 10 11

				・積極的に取り組んでいるかを評価する。 ・楽譜に印をつけているか確認する。 ・意欲的に練習を行っているか評価する。 ・他のグループの演奏の感想を書き、良く聞いているか評価する。 ・演奏の奏法、響きを感じているか等を演奏の仕方を評価する。	
第３学期	1 2 3	・トーンチャイムで演奏 ２学期で練習した曲を楽器で演奏する。 ・グループの演奏のテスト ・春 ・演奏を聴き何種類の楽器が使われているかを考える。 ・映像を見て、どのような楽器が使われているのかを理解する。 ・教科書を見て、ソネットを基に作曲されていることを理解する。	・手拍子の練習を生かし、楽器で演奏できるようにする。 ・自分の音が余裕をもって演奏できるように叩き方などを意識しながら練習をする。 ・練習した成果を全員の前で演奏する。 ・演奏の感想をプリントに書く。 ・演奏を聴き、互いの良さ、改善点を理解する。 ・曲想と楽器の音色、旋律、形式のかかわりについて理解する。 ・ソネットを手掛かりに作曲者が表現しようとした情景を感じ取る。	一生懸命に取り組んでいるか。・ ・演奏の評価 演奏を聴いてプリントに書くことができたかを評価する。 ・その時代背景を理解した中で、音楽の特徴、楽器の音色、作曲者の想いなどをプリントにまとめ評価する。	プリント配布

3　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	・曲想の音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。	技能テスト、発表の時や授業での様子
思考･判断･表現	音楽の形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それぞれの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、どのように表すかについて考え、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴く。	友達の音楽や録音した音楽を聴き比べ、知覚･感受した内容とそれらの関わりについて考える状況を評価する。また音楽の特徴を理解したことを生かしながら、よさや美しさを味わって聴いている状況を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	鑑賞：音楽の特徴や背景などと関連付けながら、自分の考えをプリントに書き鑑賞する内容を評価する。技能:録音した音楽の良いところ、直すことを聞き分け、主体的に練習する姿勢を評価する。良い音の響き、良い演奏を意欲的に聞き取り、演奏できるように取り組む姿勢を評価する。

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。